

現地調査（意見交換会）の実施状況

1. 実施報告

（1）群馬県桐生市（関東地区）

出席委員	岡田委員、谷口委員、堀尾主査（担当委員）
日時	12/27（月）9:30～11:30
場所	桐生市役所会議室、市内現地
出席者	桐生市（8名）群馬大学（3名）計11名
実施概要	桐生市の取組（小水力発電）に関する中間報告 環境省「チャレンジ25地域づくり事業」の取組状況〔情報提供〕 意見交換 現地調査（桐生市赤岩用水）

（2）秋田県（東北地区）

出席委員	飯田委員、岡田委員、谷口委員（担当委員）
日時	1/20（木）17:30～19:30
場所	秋田市内会議室
出席者	秋田県（2名）秋田市（3名）男鹿市（3名）湯沢市（1名）大潟村（5名）オブザーバー等（5名）計19名
実施内容	各団体の取組に関する中間報告等 ・秋田県（小水力発電） ・大潟村（地域エネルギーシステム） ・秋田市（太陽光・風力・小水力発電） ・湯沢市（地熱発電） ・男鹿市（余剰温泉熱の農業利用等） 意見交換

（3）高知県（四国地区）

出席委員	飯田委員、岡田委員、谷口委員（担当委員）
日時	2/15（火）～2/16（水）
場所	高知市内会議室、県内現地（香南市内、佐川町内）
出席者	高知県（8名）安芸市（1名）香美市（2名）いの町（2名）仁淀川町（1名）高知工科大学（2名）高知大学（1名）慶應義塾大学（1名）NPO（1名）コンサルタント（9名）計28名
実施内容	<p>現地調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園芸ハウスにおける木質ペレットボイラー（香南市内） ・小水力発電の設置有望地点（香南市内） ・「仁淀川流域エネルギー自給システム」（木質バイオマスの収集運搬、薪製造、ペレット製造設備等）（佐川町内） <p>各団体の取組に関する中間報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県（再生可能エネルギー資源等の賦存量・利用可能量調査）（資料提供のみ） ・高知県（高知県版固定価格買取制度等の新たな制度・仕組みの検討、モデルプロジェクト等） ・安芸市（木質バイオマスの導入、太陽光発電） ・香美市（木質バイオマスの導入） ・いの町（小水力発電、製紙スラッジ燃料化） ・仁淀川町（木質バイオマスの導入） <p>意見交換</p>

（4）福岡県北九州市（九州地区）

出席委員	岡田委員、堀尾主査（担当委員）
日時	2/25（金）
場所	北九州市役所内会議室、市内現地
出席者	北九州市（10名）早稲田大学（3名）九州国際大学（2名）NPO（3名）コンサルタント（2名）計20名
実施内容	<p>北九州市の取組（太陽光発電）に関する中間報告</p> <p>現地調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関門潮流発電事業の視察（ニッカウヰスキー） ・スマートコミュニティ事業視察（東田地区） <p>地域の方との意見交換</p>

2. 今後の予定

(1) 実施箇所

地区	実施箇所	担当委員	備考
中部	長野県 松本市	飯田委員	3/23(水)～3/24(木)に長野県松本市において、現地調査及び意見交換会を実施することで調整中。
近畿	京都府 京都市	岡田委員 堀尾委員	3/2(水)に龍谷大学 深草キャンパス(京都市内)において、近畿地区の実施団体を対象に、意見交換会を実施することで調整中。

(2) 調査事項

調査事項	内容
経緯	・事業展開のための実証調査までの経緯。
コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・見積金額と比較して実際の金額はどうか。 ・事業化のためにはコスト面で何が課題として考えられるか。 ・事業化する場合、地域の金融機関などからの資金調達等についてどのように考えているのか。 ・キャッシュフロー分析を行うなど、安定的な事業性を確保するための検討は行っているか。 ・事業によって期待される経済波及効果や雇用創出効果を計測しているか。
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民や事業者とはどのような結びつきがあるのか。 ・事業化する場合、地域の住民や事業者が主体となれる見込みはあるのか。 ・地域の大学とはどのように連携をとっているのか。 ・再生可能エネルギー資源等以外の地域資源(食料、歴史文化資産、人材など)は活用しているか。 ・単一の事業と捉えず、他事業と組み合わせることにより全体として地域にとってプラスになるよう検討するなどの工夫は行っているか。
技術	<ul style="list-style-type: none"> ・技術は事業化が可能なものか。 ・技術は実験レベル、実証レベル、事業化レベル(補助金活用の有無)のいずれの段階にあるか。 ・技術面でどのような工夫をしているか。
需要と供給のマッチング	<ul style="list-style-type: none"> ・需要と供給はマッチングしているか(量、質)。
行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・現状ではどのような支援体制になっているのか。 ・今後、どのような支援体制をとっていくのか。 ・組織化支援、制度支援、財政支援など、円滑な事業推進を後押しする施策を考えているか。